P1　表紙　原稿

（タイトル）

　不整脈の自覚症状がなくても要注意！

脳梗塞を防ぐためにもカテーテルアブレーションで治療を

（画像下文章）※2段組でお願いします。

胸がどきどきする、息苦しい･･･。そんな症状を自覚しなくても実は「心房細動」だったという方がいます。

　不整脈の一つである心房細動の患者数は、検診で診断される患者数だけでも約80万人と推計されており、実際には100万人を超すものと思われます。高齢者に多く、今後人口の高齢化に伴ってさらに心房細動の患者数は増加することが予想されています。まずは、心房細動の問題点や症状、それによって引き起こされる脳梗塞の危険性を広く知ることが大切です。心房細動からの脳梗塞を予防するために、当院の循環器内科は患者さまのために全力で最良の医療を提供しています。

前月号では、心房細動が原因で起こる脳梗塞「心原性脳塞栓症」について紹介しましたが、今月号では、心原性脳塞栓症の原因となる「心房細動」を治療するためにはどうすれば良いか、循環器内科の森川医師が詳しく解説しますので、ぜひ学んでみましょう。